

令和4年度 東京都小学校国語教育研究会 研究活動方針（案）

◎改めて、都小国研の「目的」（東京都小学校国語教育研究会規約 第一章総則 第二条）について確認する。

「本会は、国語教育の理念と実践について研究し、東京都小学校国語教育の推進と発展に寄与することを目的とする。」

今年度も、本会の研究を通して、東京都の小学校における国語教育を力強く「推進」、「発展」させていくことに少しでも寄与できるように、会員が一丸となって努力していきたい。

《目指したいこと》

- 「国語の学習が好き」で、「国語の学習に夢中」となる子供たちを育てる。
- 「国語教育について学びたい。」「国語教育を研究することが楽しい。」という教師を増やす。

◇令和4年度 研究活動の重点 **個々を「つなぐ」活動の活性化を図る。**

1 研究をつなぐ

(1) 本会内部の研究についての交流の活性化

- ①研究主題、研究副主題等、本会の今年度の研究について共通理解を図る。
 - ・6月14日（火）の常任理事会における研究についての意見交換会の実施
- ②各研究部の研究活動の交流の活性化を図る。
 - ・各研究部の最初の授業実践には、可能な限り他の部の部員も参加して、研究の方向性について共有化を図る。

(2) 研究活動の基礎資料の充実

- ①系統的指導のための資料
- ②学習指導要領に示された、各教科等における「言語活動」と「障害のある児童への配慮について」

2 歴史をつなぐ

(1) 研究記録の充実（デジタル化の視点も重視）

- ①次年度以降に引き継ぐ研究資料の蓄積（例：学習指導案、単元開発資料、学習材分析等）
- ②活動記録の充実（機関誌「国語教育」の活用）

(2) これまでの研究資料・活動記録の整理

例：言語部資料、話すこと・聞くこと部ミニ単元開発資料 等

3 地域をつなぐ

- (1) 各地区の研究情報の共有（地区の研究主題、使用教科書、使用 ICT 機器等）
- (2) 東京都教育委員会、各地区教育委員会等の国語教育に関わる情報の共有（研究員等）
- (3) 全国小学校国語教育研究会、その他の全国の研究団体との連携